

は じ め に

近年の社会経済の発展及び技術革新は、目覚ましく国民の生活は著しく向上し公衆衛生の向上とあいまって国民の寿命は大きく延び人生80年代の高齢化社会を迎えることになった。

このような時代の進展の中にあつて当所は行政部門と密接な連携をもち衛生行政の技術的中核としてその推進に努めてきた。

特に昭和52年以来、全国地方自治体に先駆けて新生児・乳児に対する先天性代謝異常検査を取り上げクレチン症、TBG欠損症、神経芽細胞腫、先天性副腎皮質過形成のマス・スクリーニングを逐時実施し更に昭和61年度からは本市独自事業として新たに妊婦甲状腺機能検査に取り組みマス・スクリーニングに関する試験検査・研究に着実な成果を上げ母子保健の向上に寄与しています。

一方現庁舎は、25年が経過し老朽化が進み検査体制の整備に伴う狭あい化も著しく当所の懸案事項でありました新庁舎の建設が認められ現在工事に着手し昭和63年9月の完成を目差しています。

札幌市にとって本年度は21世紀へ向けて策定した第三次長期総合計画の初年度であり、また、当所にとつても新庁舎により再スタートする記念すべき年であります。21世紀を目指して地方衛生研究所の在り方を強く問われている今日であります、新庁舎の完成を弾みとして、新しい時代の要請に充分対応すべく所員一同気持を新たにして業務を推進してまいりたいと考えております。

最後に皆様方の一層のご鞭撻とご指導をお願い申し上げるとともに、この冊子がいささかなりとも関係者各位の方々に役立つことがあれば望外のよろこびであります。

昭和 63 年 3 月 1 日

札幌市衛生研究所長

高 杉 信 男